岩国市立錦中央病院及び美和病院の公立病院経営強化プランについて

(1)役割・機能の最適化と連携の強化

①地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能

記載のポイント

- **地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能**について記載する。
- 地域医療構想における推計年である令和7年(2025年)及びプラン最終年度における機能ごとの 病床数や、病床機能の見直しを行う場合はその概要を記載する。

記載内容(P18, 23, 29)

- <u>市立両病院</u>は、病院の少ない玖北地域における救急・在宅医療などの役割を担っており、それぞれが地域 医療の拠点として、一体となって玖北地域全体の医療提供体制を維持していく。
- また、高度急性期および自院で対応が困難な急性期症例においては、岩国医療センターや岩国市医療センター医師会病院等と連携を行う一方、慢性期で検査・加療の必要な患者を見過ごさないよう、地域の診療所や介護施設との連携強化を図る。
- <u>錦中央病院</u>は、今後、リハビリテーション機能を拡充し、患者の在宅への移行や地域生活復帰を支援するとともに、地域連携室の増員を通じた入退院調整機能の強化を図っていく。一病棟でもあり、現在の入院機能(急性期病床)を維持していくことによって、地域の医療ニーズに幅広く応えられるよう取り組む。
- <u>美和病院</u>は、新病院開業に際し、患者の在宅復帰をより強固に支援するため、セラピスト等の人材確保を進めつつ、地域包括ケア病床の導入を目指すとともに、在宅療養支援病院の施設基準の充足を検討する等、在宅医療の強化を進める。※病床数の見直し(45床)や、急性期から回復期へ機能転換を行う(16床)

病床機能	錦中央病院		美和病院	
	令和5年度	令和7年度 令和9年度	令和5年度	令和7年度 令和9年度
急性期	5 3	5 3	5 2	<u>29</u>
回復期	0	0	0	<u>16</u>
合 計	5 3	5 3	5 2	<u>45</u>

(1)役割・機能の最適化と連携の強化 ②地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

記載のポイント

- <u>地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能</u>について記載する。
- その際、**病院の規模や特性等に応じた役割・機能の明確化・最適化**について記載する。

記載内容(P23,29)

- <u>錦中央病院</u>は、「がん」の療養支援、「脳卒中」や「心筋梗塞等」の初期診療・予防、「糖尿病」の初期治療および「救急医療」と「へき地医療」を担っており、初期診療から慢性期診療までの幅広い患者の受け入れを通じて、地域包括ケアシステムの中核を担っていく。
- <u>美和病院</u>は、急性期・回復期・在宅医療までを担っており、救急医療体制を維持すると同時に、近隣の介護系施設との連携を維持・強化し、初期診療から慢性期診療まで幅広く患者の受け入れを進める。

(1)役割・機能の最適化と連携の強化

③機能分化・連携強化の取組

記載のポイント

- 地域全体で持続可能な地域医療提供体制を確保するために必要な<mark>機能分化・連携強化の</mark> 取組の概要と講じる具体的な措置について記載する。
- さらに、病床利用率が特に低水準(令和元年度まで過去3年間連続して70%未満)である場合、地域の実情を踏まえつつ十分な検討を行い、必要な取組について記載する。

記載内容(P23~24,29~30)

- 市立両病院での対応が難しい急性の循環器疾患や重度の外傷等の三次救急においては、 岩国医療センターや岩国市医療センター医師会病院等と連携を行う。
- <u>錦中央病院</u>は、急性期治療を終えた患者の回復期治療と在宅復帰支援を行うとともに、 近隣の診療所や介護施設等と連携し、検査や入院が必要な患者の円滑な受け入れを進める。
- <u>美和病院</u>は、在宅患者に対しては訪問看護ステーションさくら(令和4年1月開設)を中心に療養を支援するとともに、今後の岩国医療圏の地域ニーズに応じて、規模や活動範囲の拡大を検討する。また、新病院の開業に伴い、将来的な地域の患者数に応じた病床数へ見直すとともに、セラピストの増員による在宅医療の強化を進め、より多くの患者を確保することによって、病床利用率の向上を図る。
- 両病院間において、在宅医療や各種患者指導のあり方について部門長による定期的な情報 共有の場を設け、患者とその家族にとって最適な医療の提供および医療の質の向上を図るととも に、看護師等の人材交流を継続し、業務の高度標準化や人材のスキルアップを図る。

-

(1)役割・機能の最適化と連携の強化 ④医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標



記載のポイント

○ 病院の果たすべき役割に沿った、質の高い医療機能を十分に発揮するとともに、地域において他の病院等との連携を強化しているかを検証する観点から、以下の例示などを踏まえ、適切な数値目標を設定する。

1) 医療機能に係るもの

地域救急貢献率、手術件数、訪問診療・看護件数、リハビリ件数、地域分娩貢献率など

2) 医療の質に係るもの

患者満足度、在宅復帰率、クリニカルパス使用率など

3)連携の強化等に係るもの

医師派遣等件数、紹介率・逆紹介率など

4) その他

臨床研修医の受入件数、地域医療研修の受入件数、健康・医療相談件数など

参考

(1)役割・機能の最適化と連携の強化 ④医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

記載内容(P24)

錦中央病院

	実績値	見込値	目標値
	R4年度	R5年度	R9年度
1) 医療機能に係るもの			
救急搬送応需率	73.5%	85.5%	92.2%
リハビリ実施件数	0件	0件	7,680件
2) 医療の質に係るもの			
在宅復帰率	81.5%	88.1%	85.0%
3)連携の強化等に係るもの			
紹介率	13.1%	13.0%	15.0%
逆紹介率	54.6%	50.0%	50.0%
4) その他			
地域医療研修の受入件数	7人	7人	5人

(1)役割・機能の最適化と連携の強化



4 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

記載内容(P30)

美和病院

	実績値	見込値	目標値
	R4年度	R5年度	R9年度
1) 医療機能に係るもの			
救急搬送応需率	83.2%	90.9%	90.0%
地域包括ケア病床における リハビリ実施件数	0件	0件	8,059件
2) 医療の質に係るもの			
在宅復帰率	87.5%	90.0%	85.0%
3)連携の強化等に係るもの			
紹介率	0.8%	1.0%	15.0%
逆紹介率	22.6%	22.0%	25.0%
4) その他			
地域医療研修の受入件数	4人	7人	5人

6